

週刊

愛知民報

2023年
7月9日
第2640号

発行所 日本共産党愛知県委員会
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
☎(052) 261-3461 (代表)
(052) 251-2925 (編集部) F A X (052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料 336円 1部 100円
毎週日曜日発行 (第5日曜日は休刊)

愛知県議会6月定例会教育・スポーツ委員会

共産党 しもおく奈歩議員が追及



しもおく奈歩県議

小中学校給食無償化 教員不足解消、教育実習改善

要求

給食費用300億円

6月29日、日本共産党のしもおく奈歩県議は、愛知県議会の教育・スポーツ委員会へ一般質問を行いました。

しもおく奈歩は、県下20自治体がなんらかの学校給食無償化に取り組んでいるが、県として無償化に取り組む自治体を助成する制度を設けてはどうか。いくらかで実現できるかと質問。

教育委員会は、法的には食材費は保護者負担だが自治体負担を妨げるものではないとの国会答弁もあり、まずは小中学校設置者であ

る各自治体が実情に応じて判断するべきもの。給食費用は一食当

273円×年間186日×小中60万人で約300億円と答弁しました。

教員志願者減少

教員不足について実情と認識をたどすと教育委員会は、今年5月1日時点で小学校52人、中学校47人、高校19人、特別支援学校22人、合計140人教員が未配置になって

いる。年度当初に非正規教員で欠員を補充しているのは、小学校1288人、中学校771人、高校298人、特別支援学校246人、合計2603人。中高の技術系の不足が解消できていない。

教員志願者も昨年より360人減り6048人。正規教員の新規採用を増やすことなど教員不足解消に取り組むたいと答弁しました。(数字はいずれも名古屋市をのぞく県内)

ハラスメント根絶を

しもおく奈歩は、民間同盟愛知県委員会が行った教育実習生アンケートも示して、教育実習での長時間労働やハラスメントで実習生の半数近くが「教員になるのをやめたいと感じた」という深刻な実態があることを指摘

し改善するよう迫りました。教育委員会は、昨年小学校873人、中学校1119人、高校548人、特別支援学校144人、合計2684人が県下で教育実習を行っている。

実習は1日7時間45分の勤務時間内でおこなうのが基本であり、国の通達も踏まえて4月7日付けで、教育実習について不適切な指導や過度な負担がないよう各校長と市町村教育委員会に通知した。

大学と県教育委員会が教育実習の受け入れについて打ち合わせる会議を設けており、それほど深刻なケースが

あるとは聞いていないが、今後は必要な改善を行っていく、と答弁しました。

ネット中継実現せよ

この日の委員会は定員を超える希望者となり抽選で10人が傍聴しました。

県議会ではいまだに委員会のネット中継は実現していません。議論の様子を広く伝えることも急務です。

質問後、しもおく奈歩は、「教育実習について学生の生の声を直接紹介でき、教育委員会とも問題意識を共有できた。学校での働き方を改善し若者が希望を持てるようにしたい。給食無償化は全自治体への半額補助は150億円と試算額が初めて示された。財

力豊かな愛知県なら十分に実現可能な金額だ。給食無償化に向けて県民運動を盛りあげていきたい」と語りました。(日本共産党愛知県議団事務局長・山口清明)

日本共産党 愛知県委員会

衆院予定候補発表



総選挙の予定候補者を発表する記者会見。(左から)酒井ケンタロー愛知2区、すやま初美比例東海、えがみ博之同5区、伊藤恵子同9区、鈴木こういち同7区、浅尾大輔同14区の各候補＝6月27日、愛知県庁

日本共産党の愛知県委員会は6月27日、来るべき総選挙の立候補予定者を発表しました。比例東海ブロック(定数21)に、現職の酒井ケンタロー(愛知2区)、えがみ博之(同5区)、鈴木こういち(同7区)、伊藤恵子(同9区)、浅尾大輔(同14区)を擁立し、複数議席をめざします。

愛知の16の小選挙区には、野党共闘の現状から共産党の独自候補を積極的に擁立する方針です。酒井ケンタロー(愛知2区)、えがみ博之(同5区)、鈴木こういち(同7区)、伊藤恵子(同9区)、浅尾大輔(同14区)を擁立し、複数議席をめざす」と決意表明しました。

酒井さんは「前は野党共闘を優先し共産党候補を立てなかったが、いま共産党そのものが伸びなければいけない」と話し、えがみさんは「岸田政権の大軍拡のもとで、まさに命と平和がかかった選挙となる」と力説。鈴木さんは、4月の日進市議選で掲げた学校給食無償化も大もとの国政を変えてこそ実現できる」と表明。伊藤さんは、「6期市議を務めた津島市は日本で最初に非戦・核兵器廃絶を求める宣言をした。9区の市町村はすべて非核平和宣言をしている」とし、平和の声を国政に届けると強調。浅尾さんは、東三河の医療困難の大もとの国、自民公明政権の医療削減があると告発し「現職に正面から挑む」と決意を述べました。